

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

<p>学会名</p>	<p>日本農芸化学会関東支部2018年度大会</p>
<p>演題名</p>	<p>サクランボ中の糖類および有機酸類のイメージング質量分析法による可視化</p>
<p>発表者</p>	<p>○清水 ほのか<sup>1</sup>※、小川 陽暉<sup>1</sup>※、海士 紗希<sup>1</sup>※、瀧 弘貴<sup>1</sup>※、<u>山根 久和</u><sup>1,2</sup>、<u>榎元 廣文</u><sup>1,2</sup>  <sup>1</sup>帝京大・理工・バイオ、<sup>2</sup>帝京大・先端機器分析センター                  (○；発表者、※；本学の卒研生、__；本学科教員)                  【食品分析学研究室】</p>
<p>内容</p>	<p>本研究では、マトリックス支援レーザー脱離イオン化-イメージング質量分析法（MALDI-IMS）を用いてサクランボ果実中の糖類および有機酸類を解析するためのサンプル調整手法の検討を行った。その結果、凍結固定のみでサクランボ果実から元の構造を保った切片を作成することができた。また、エアブラシを用いて2,5-ジヒドロキシ安息香酸を塗布後、ポジティブイオンモードでMALDI-IMSを行ったところ、2種の糖類、2種の有機酸類、および1種類のビタミン様化合物を可視化することができた。以上より、MALDI-IMSはサクランボ果実中の糖類および有機酸類の可視化に有効な手法であることが示唆された。</p>
<p>関連画像</p>	